

# メディアアート作品と地図アプリで 堺の町家の魅力を発信

～堺市立町家歴史館・山口家住宅「Art Media Design 展」～

映像作品やデジタルメディア作品を制作し、山口家住宅（国の重要文化財）に展示。堺市内外から幅広い年齢層の方が来場し、山口家住宅とともに堺市の魅力発信に貢献しました。



全地球映像コンテンツで提供した「体感空撮映像～空から見る仁徳天皇陵～」

## 活動の概要

目的	学生などが制作したデジタルメディア作品の展示 / 山口家住宅ならびに堺市の魅力発信
連携メンバー	堺市長公室広報部シティブロモーション担当 堺市文化観光局文化部文化財課 関西大学総合情報学部 堀雅洋ゼミ / 井浦崇ゼミ / 荻野正樹ゼミ / 林武文ゼミ / 松下光範ゼミ その他アーティスト（特別協力）
活動地域	大阪府堺市
活動期間	2014年9月～2016年3月（作品展は 2016年3月5～6日に開催）

## 連携の経緯

地域の歴史・文化に関わる魅力を幅広い年齢層に発信する方策を模索していた堺市と協議を重ねた結果、山口家住宅（※）を会場に、デジタルメディア作品展「Art Media Design 展（AMD展）」を実施することとなった。

※山口家住宅（堺市立町家歴史館）…江戸時代初期に建てられた町家で、国の重要文化財にも指定されている貴重な建造物

## 解決すべき課題

- (1) 堺市の知名度の向上
- (2) 堺市の観光活性化
- (3) 山口家住宅など堺に数多くある文化的資本の魅力発信



AMD展2016パンフレット

AMD展2016のようす 童子ロボット(中)と、「デジタル古地図で見る堺」(右)

## 大学の役割

「山口家住宅（堺市立町家歴史館）」は、江戸時代初期の町家で、重要文化財にも指定されている建造物である。関西大学総合情報学部の5つの研究室と特別協力アーティストは、堺市の協力の下、山口家住宅にて市の魅力発信を目的とする「AMD展（アート×メディア×デザイン展）」を過去2回（2015年3月、2016年3月）開催した。2016年度は「情景にふれあうメディア空間」をテーマに展示。以下は映像作品の一例。

- ・堺の一日をタイムラプス撮影により1分間に凝縮する「Time Lapse in Sakai」
- ・町の趣を感じさせる物と音を集め、物から音を聴く作品「まちのささやき」
- ・来場者に反応して声をかけたり、手を振って見送ったりしてくれる「童子ロボット」
- ・関西大学所蔵の「堺大繪圖改正綱目」（1735年）ほか江戸中期から明治後期までの堺環濠都市地区の古地図をデジタル化し、現在の地図と見比べられるようにした「デジタル古地図で見る堺」および「古墳群マップアプリ」
- ・仁徳天皇陵（大仙古墳）を、全方位カメラを搭載した無人航空機（ドローン）で上空140mから撮影し、全地球映像コンテンツで提供した「体感空撮映像～空から見る仁徳天皇陵～」

このように同展は、町家空間に融和する映像作品を通して、堺市内外の幅広い層に同地域の町家に来訪する機会を提供。平成23年より同地域内（七まち界限）で民間の町家を開放して行われている「ひな飾りめぐり」と時期を合わせて開催することによって、より効果的な堺市の魅力発信につなげることができた。

## 成果

- (1) 重要文化財の町家を会場としたデジタルメディアの作品展を2年連続で開催
- (2) 例年、山口家住宅への来場者が少なくなる冬の時期に、2日間で計334名が来場
- (3) デジタル技術を用いた情報提示の試み紹介

## 今後の展望

- (1) 山口家住宅ほか市役所の施設等を利用した情報発信について堺市とともに検討を続ける

## 研究者の紹介



総合情報学部 教授  
堀 雅洋（ほり まさひろ）

専門は知能情報学。様々な特性のユーザに対して情報のアクセス容易性を保証するための評価手法とデザイン原理を明らかにすることを目標としている。



総合情報学部 准教授  
井浦 崇（いづら たかし）

専門はメディア・アート。デジタルメディアにおける映像と音楽の新しい創造性をテーマに、視覚と聴覚の相互作用による表現効果を研究。美術家、音楽家として作品制作も行っている。



総合情報学部 教授  
林 武文（はやし たけふみ）

専門は視覚認知情報処理。視覚を中心とした人間の情報処理メカニズムを解明し、ヒューマンインタフェースにおける情報の提示方法を明らかにすることを目的に研究を行っている。



総合情報学部 教授  
松下 光範（まつした みつのり）

専門はインタラクティブシステムデザイン。様々な情報処理システムの、機能性の高さを使いやすさを両立するシステムの実現ならびにその方法論について研究を行っている。



総合情報学部 教授  
荻野 正樹（おぎの まさき）

専門は認知ロボティクス。ヒトが発達段階で身につけていく認知能力をロボットに持たせることで、ヒトの持つ認知メカニズムの原理を研究している。